

日本人の死因のトップはがんで、なお増え続けています。深刻な事態に対応するため、2007年（平成19年）4月「がん対策基本法」が施行されました。それに基づいて国がつくった「がん対策推進基本計画」は「がん検診の受診率を5年以内に50%以上にする」という目標を掲げています。検診による早期発見は、事態を改善するために、大きな効果があるからです。

同年9月、内閣府が行った「がん対策に関する世論調査」によると、ほぼ95%の方が「がん検診は重要と思う」と回答する一方で、「今まで受けたことがない」との回答は、半分ほどを占めています。心の片隅に「自分だけは大丈夫」との油断があるのかも知れません。

この冊子をご一読いただき、自分はもちろん家族のためにも、がん検診を適切に受けられることを、おすすめします。



がんは死因のトップ	3
まだまだ低いがん検診の受診率	4
早く見つければ治療が容易	6
国が定めているがん検診は5部位	8
こんな症状があったらすぐにお医者さんへ	10
がんの疑いがあったら精密検査を	12
日常生活でのがん予防	14
がん検診の歴史	16
がん診療連携拠点病院一覧	17
日本対がん協会支部一覧	30